

実用英語教育学会第9回研究会 (Zoomによるオンライン開催)のご案内

ビジョン3-16: 2021年東京オリンピックと日本の英語教育
—話す力の原点としての発音指導再訪—

延期された東京五輪まであと1年となりました。新型コロナウイルスがいまだ猛威をふるっているなかで、日本や世界でいま起こっていること、これから北海道でできることについて学び、考え、できることがあれば実践していきたいものですね。ワークショップで古田メソッドについての情報も得つつ、困難な状況下にありながら、全国各地で英語を子どもたちの日常生活の中に定着させようと日々奮闘しておられる先生方が、来る東京五輪をこれからの日々の教育現場で最大限に生かしていくための指針やインスピレーションを得る機会となれば幸いです。

日時: 2020年7月26日(日) 受付:9:40~

研究会 午前10:00~12:00

場所: ZOOMによるオンライン開催(申込者には前日にメールでリンクURLを送付予定)

参加費: 無料

* 事前にZOOMのURLをお送りしますので、事前のお申込みが必要になります。

参加のお申込みは **7月24日(金)までに下のリンクから専用フォーム**でお願いいたします。

<https://forms.gle/wiZg8RQaMgmAr6JD6>

定員: 100名

大会事務局

実用英語教育学会 (SPELT) 事務局

〒065-8567 札幌市東区北16条東9丁目1番1号

札幌大谷大学社会学部地域社会学科 石川希美 研究室内

TEL: 011-742-1651 (代)

FAX: 011-742-1654 (※社会学部石川希美宛てと明記してください)

E-mail: info@spelt.main.jp (事務局担当者共有アドレス)

プログラム (敬称略)

- 9:40~ 受付 (Zoom入室) 開始
- 10:00~10:10 開会挨拶・司会: 三浦 寛子 (北海道科学大学)
会長挨拶: 釣 晴彦 (札幌学院大学)
- 10:10~10:15 講師紹介: 釣 晴彦 (札幌学院大学)
- 10:15~11:55 ワークショップ (80分ワークショップ、20分質疑応答)
講師 のりたか 古田 智隆 (ボイスワーク・トレーナー)
- 11:55~12:00 閉会挨拶: 石川 希美 (札幌大谷大学)

多くの皆さんのリクエストにお応えして、古田メソッドの進化版！

《手・指で作る発音》ワークショップ 第3弾 7月26日(日)/SPELT

英語を聞く・話すための手と指で作る発音—Elementary Session Part 3—

講師 古田 ^{のりたか} 智隆 氏 (ボイスワーク・トレーナー)

概要：近年は優れた多くの発音練習方法が考え出されているが、唇の形、表情筋の動き、唇の合間から見える舌の動きなど、外から見える部分での練習方法が主になっている。母音や子音を作る際に重要となるのは、舌の動きだが、舌は口の中にあるため可視化することが難しく、舌を思い通りに動かすことは、非常に難しい。そこで、ストレスなく思い通りに舌を動かすことができると考案したのが《手で作る発音》である。音を作り出せる、すなわち、発音できるようになれば、その音は聞こえてくる。最初は、アルファベット1文字かもしれないが、それが2文字になり、3文字になり・・・点が線へと繋がっていく。単語の意味はわからなくても、英語の音を言語として脳が認識し始めるようになる。発音できない音は言語として認識しづらい。日本人の耳には、日本語を言語音、それ以外の言語音を雑音と認識する〈好み〉ができあがっている。英語の音を雑音として認識したままでは、聞き取ることや話すことはできない。英語の音を自分が作る言語音として作れるようになれば、英語の音を言語音として認識し、聞き取れるようになる。英語をカタカナ読みするのではなく、最初からネイティブと同じように舌や唇・表情筋を動かして、正しい発音をつくり出せるように指導できることが英語教師にとって欠くことのできない技能と考え、そのような指導ができるようになるための方法の基礎を紹介する。

プロフィール：1969年生まれ。北海道出身。東京レコーディングスクール卒業後、(株)HAMに入社。数々の名編曲家・アーティストから多くの教えを受ける。作曲・編曲活動のために、1992年よりフリーランス。94年からは、ボイスワークトレーナーとしてのキャリアをスタートさせ、ポップス、ロック、クラシックと幅広いジャンルの歌手、コーラスグループ、俳優、ナレータのボイス・トレーニングを手掛けるかたわら、全国各地でセミナーも開催している。プロからアマチュアまで、また、就学前児童から高齢者まで、さらには、音楽関係者から英語教師や同時通訳者まで、まさにあらゆるニーズのボイストレーニングにかかわっている。作曲・編曲者としては、樹里からん、古澤 巖、KoN、口笛太郎 Duo、松本俊明、夏木マリ、森昌子、石井聖子、桑田靖子、平井真美子、久保田洋司、黒澤秀樹、土井晴人、押谷沙樹、梶原 聡、TREACLE WELL、FUGA、横田裕一(Counter tenor)らの作品にかかわる。コンサドレー札幌のオフィシャル・ジングルなど、CMやTV番組、ラジオ番組などの制作も多数手掛けながら、NHK BSの「うたのなる木」、テレビ朝日の「少年少女 B」などに音楽講師役として自らサブレギュラー出演もしている。舞台音楽の分野でも、作曲・編曲者として、また、舞台音楽監督として活躍している。北海道舞台塾の「先進的創造活動プロジェクト“エア”」、Theater I'mの「卑弥呼」をはじめ、市町主催の市民参加型ミュージカルにも多数参加し、日本の演劇活動の普及にも貢献している。



<http://nori-f.jimdo.com/profile-career/>

より許可を得て転載